

2022年5月23日

学部生・大学院生の皆様へのお願い

東北大学薬学部長・薬学研究科長 岩渕 好治

皆様におかれましては予てより徹底した感染防止対策にご協力頂いておりありがとうございます。5月23日（月）より、本学のBCPレベルが1に移行しました。これに伴い研究・教育はもとより、学外での課外活動を充実発展していくことができるようになります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行は継続しており、予断を許さない状況であることに変わりはありません。予期せぬ感染事例の多くはマスクを外した状態での会話に起因している例が明らかです。したがって、自分自身、そして友人や関係者が安心して活動するためには、これまでと変わらず感染防止対策を継続して頂くことが肝要です。すなわち、「正しいマスクの着用」「こまめな手指消毒・うがい」「三密環境からの回避」「換気の徹底」を強く意識して日常生活を過ごして下さい。

あらためて**基本的な感染防止対策**の徹底にご留意の上、日常をお過ごし頂きますようお願い致します。

[基本的な感染防止対策]

- ① 感染リスクは日常生活の中の身近にあることを意識する。
- ② 密閉、密集、密接のいずれか一つでも当てはまる環境に身を置かない。
- ③ 人と接触する際のマスク着用・ソーシャルディスタンスの意識を忘れない。
- ④ こまめな手指消毒・うがいの徹底
- ⑤ 室内換気の徹底

[日常生活]

- これまでと同様に健康管理に留意するとともに、新しい生活様式の実践を心がけて下さい。アパート等での長時間にわたる友人同士との飲食、大声の発声を伴うライブハウス、カラオケボックスへの出入りは自粛して下さい。
- 接客等の不特定多数の人と接する機会のあるアルバイトも感染リスクを伴うことを強く意識して下さい。
- 感染の懸念がありPCR検査を受検する事となった場合には速やかに総務係へご連絡下さい（総務係 ph-som@grp.tohoku.ac.jp）

（注1）保健所等からの指示以外に、仙台市役所本庁舎1階「木下グループ新型コロナウイルスPCR検査センター仙台店」でPCR検査を受けることが可能です。この場合、受検前の連絡は不要です。検査の結果、陽性判定の場合は速やかに新型コロナウイルス感染対策

本部に連絡してください。ただし、感染を疑うような症状がある場合は、当該センターでは受付を拒否されます。その場合は医療機関を受診して指示に従うようにしてください。

(注2) 自身で体調不良を自覚した場合や感染が懸念される場合、市販の抗原検査キットを用いて簡易的に判断することが可能です。この場合、抗原検査で陽性の場合はすみやかに医療機関を受診してください。

抗原検査で陰性だった場合も感染を完全に否定することはできません。体調不良や感染が懸念される場合（濃厚接触者疑いを含む）、自宅待機の上、総務係へご連絡下さい（総務係 ph-som@grp.tohoku.ac.jp）に相談してください。

(注3) 濃厚接触の疑いのある者：次のいずれかに当てはまる場合

- ① 陽性者の症状が出る2日前から接触した者のうち、必要な感染予防策をせずに手で触れた場合
- ② 対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1m程度）で、必要な感染予防策なしで15分間以上（密閉された空間ならば15分間未満でも）接触した場合
- ③ 陽性者と同居あるいは長時間（車内、航空機内等を含む）の接触があった場合 等「必要な感染予防策」については正しいマスクの着用を前提としています（基本的な感染防止対策は必ず実施して下さい）。

[授業等]（変更無し）

- 学部・大学院の授業は十分な感染防止対策を施した上で、対面授業とオンラインを併用して実施します。川内北キャンパスで開講される授業については、全学教育実施系の指示に従って対応して下さい。
- 教務関係の連絡はメール等で通知されますが、薬学部・薬学研究科 HP は毎日確認して下さい。また、分野所属の学生の皆様は指導教員と密に連絡を取るようにして下さい。
- 研究室・分野での活動は、薬学研究科の感染防止管理体制、および各研究室の行動指針に従って下さい。

[薬学部棟内での行動]（変更無し）

- 入構に際しては健康状態（毎日、各自自宅において検温をお願いします）、行動履歴（感染者、あるいは感染が懸念される人と接触に関する確認が必要になる場合があります）にご留意下さい。
- 入構時に建物玄関に設置してある消毒液を使って手指消毒を徹底して下さい。
- 構内ではマスクは常時着用して下さい。

- 対面授業で講義室・実習室を利用する場合は、各部屋に掲示してある QR コードによる入退室管理を徹底して下さい。教室内では、他の学生と一定程度距離を保って着席してください。感染防止のため、他の学生との会話、および飲食は厳に慎むようお願いいたします（ただし、ある程度の水分補給・摂取は認めます）
- 活動範囲は原則所属研究室内、関連施設のみとし、他研究室への立ち入りは避けて下さい。
- 研究室内外での連絡、打ち合わせ等は電話、メール、web を活用して下さい。
- 換気のできない密閉した空間での複数人での作業は避けて下さい。
- 公共交通機関を利用する場合、マスク着用の上、混雑時間帯の利用は避けるように心がけて下さい。
- 夜間に学生 1 人での実験は絶対に行わないで下さい。
- 事務との連絡は電話、メールを使い、事務への提出物は教員に依頼して下さい。

[県外活動]

- 移動先の感染状況を十分に確認した後、慎重な行動をお願いします。
- 県外移動後、1 週間程度は十分に健康状態の変化に注意した上、体調不良を自覚した場合は自宅待機の上、感染対策本部に連絡して下さい。

これまでの感染例の多くはマスク無しでの会話に起因していることは明らかです。今回、BCP1 への移行を継続して維持し続けるためには、気を緩めることなく、従来と同等の感染防止対策を講じることが肝要です。感染防止に留意した上、研究活動、教育活動、課外活動を充実させていくことを祈念します。

今後も皆様が安心して学業に取り組めるように対策を練り、またご不安を取り除くためにこれからも情報発信に努めて参りますので、構成員の皆様のご協力をお願い致します。